

# 東北ヘルプ

担当者: 川上直哉  
作成: 2016年6月30日

## 「短期保養支援」の面談結果について

東北ヘルプは、合同メソジスト教会災害対策室(UMCOR)の資金をお預かりして、2016年6月までのプロジェクトとして、「短期保養」を支援しています。それは、

- イ) 放射能に不安を覚えている親御さんを対象に、
- ロ) 短期保養を行って子どもを守るために、
- ハ) 保養のための交通費を支援する。

・・・というものです。

この支援の大切なポイントは、支援の度に、毎回必ず、面談を行うことです。2016年6月30日現在、川上は721回の面談を行い、208世帯(大人444人、子ども436人)のお話を定期的にお伺いしてきました。回を重ねるうち、これは尋常ではないと、背筋を寒くする思いを強めました。その内容を数字で説明しますと、以下の通りとなります。

### ① 福島県内で2011年3月を過ぎた165世帯との面談の結果

(1) 87%の世帯で、健康に異常が確認されていました。

(2) 大人353名の内、以下の症状が確認されていました。

慢性的な空咳(10人)、甲状腺A2判定(8人)、甲状腺B判定(7人)、慢性的な皮膚疾患(7人)、慢性的な鼻血(6人)、慢性的な咳痰(6人)、慢性的なだるさ(6人)、慢性的な鼻炎(5人)、慢性的な発熱(5人)、声が出ない(4人)、甲状腺肥大(3人)、橋本病(3人)、扁桃腺肥大(2人)、流産(2人)、溶連菌感染症(1人)、子宮外妊娠(1人)、甲状腺C判定(1人)、胃腸炎(1人)、慢性的な体の痛み(1人)、甲状腺癌(1人)、視神経炎症(1人)、慢性的な頭痛(10人)、糖尿病の悪化(1人)、白内障(1人)、こぶ(1人)、耳に膿がたまる(1人)、慢性的な貧血(1人)、慢性的な不整脈(2人)、慢性的な腰痛(1人)、歩けなくなる(1人)、肺がん(1人)、風邪が治らない(1人)、慢性的な下痢(1人)、リウマチ(1人)、毛穴から出血(1人)、中耳炎(1人)、副鼻腔炎(1人)、喘息(1人)、呼吸器が苦しい(1人)、膀胱炎(1人)、足が勝手にバタバタ動く(1人)、睡眠障害(1人)、大腸腫瘍(1人)、肝臓腫瘍(1人)、甲状腺腫瘍(1人)、手足の痺れ(1

人)、持病の悪化(1人)、慢性的に喉がイガイガする(1人)、死産(1人)

(3) 子ども150名の内、以下の症状が確認されていました。

慢性的な鼻血(82人)、甲状腺A2判定(68人)、慢性的な皮膚疾患(56人)、空咳・喘息(37人)、慢性的な鼻炎(23人)、慢性的な頭痛(16人)、慢性的な口内炎(15人)、慢性的な体力の低下(16人)、慢性的な発熱(13人)、慢性的な鼻炎(12人)、甲状腺B判定(5人)、慢性的な下痢(5人)、手足口病(5人)、肺炎(5人)、爪に異常(4人)、慢性的な蕁麻疹(6人)、慢性的な腹痛(3人)、慢性的な足の痛み(6人)、夜尿症(5人)、慢性的な隈(5人)、慢性的な胃腸炎(4人)、慢性的な疲労感(3人)、慢性的な貧血(3人)、扁桃腺肥大(3人)、とびひ(5人)、中耳炎(3人)、リンゴ病(2人)、産まれてすぐ鼻水が詰まる(2人)、首の痛み・しこり(2人)、精巣の奇形(2人)、夜に眠れない(2人)、歯ぐきから出血が止まらない(2人)、ひどい爪噛み(2人)、胸が痛い(2人)、慢性的な気管支炎(2人)、マイコプラズマ(2人)、甲状腺機能低下症・橋本病(2人)、食欲減退(2人)、慢性的な咳痰(2人)、白血球内好中球数低下(2人)、慢性的な足の裏の痒み(1人)、副鼻腔炎(1人)、足の奇形(1人)、視力低下(1人)、赤血球不足(1人)、慢性的なのどの痛み(1人)、慢性的な徘徊(1人)、甲状腺肥大(1人)、白血病(1人)、慢性的な不整脈(1人)、結膜の剥離(1人)、まぶしがかる(1人)、目がかゆい(1人)、低血糖で意識を失う(1人)、上あごに腫瘍(1人)、慢性的な血圧低下(1人)、身長が伸びず体重が減る(1人)、幻覚を見る(1人)、帯状疱疹(1人)、声が出にくい(1人)、慢性的な目の痛み(1人)、寝つきが悪くなった(1人)、甲状腺がん(1人)、パセドウ病(1人)、髪の毛が生えてこない(1人)、心臓に穴が開いて生まれる(1人)、軽度肥満(1人)、手の震え(1人)、骨折(1人)、風邪をひきやすい(1人)、急性ストレス障害(1人)、保養先で黒い便(1人)、脇の下と大腿内側が赤く腫れる(1人)、キッシング病(1人)、血小板減少紫斑病(1人)、給食のキュウイを嘔吐の後、顔が腫れあがってアレルギーに(1人)、慢性便秘(1人)、ものもらい(1人)、ERウイルス感染症(1人)、血行不良(1人)、慢性的に目がかゆい(1人)、慢性的に目が腫れる(1人)、熱性痙攣(1人)

### ② 関東地方(神奈川・東京・千葉・埼玉・栃木)と宮城県内で「2011年3月」を過ぎた方々、43世帯との面談の結果

(1) 98%の世帯で、健康に異常が確認されていました。

(2) 大人84名の内、以下の症状が確認されていました。

慢性的な発熱(3人)、癌(3人)、慢性的に心臓のところが痛い(2人)、慢性的な体の痛み(2人)、慢性的な鼻血(2人)、慢性的な口内炎(2人)、慢性的な隈(2人)、耳管内炎症(2人)、甲状腺B判定(3人)、慢性的な鼻炎(2人)、慢性的な吐き気(2人)、慢性的な目まい(2人)、慢性的な不整脈(2人)、慢性的な頭痛(2人)、抜け毛(1人)、慢性的な空咳(1人)、橋本病(1人)、慢性的に内臓が痛む(2人)、不整出血と前置胎盤(1人)、鼻と目の痒み(1人)、目が痛い(1人)、皮膚疾患(1人)、尿からセシウム(1人)、何度も卒倒した(1人)、パセドウ病(1人)、甲状腺A2判定(3人)、甲状腺肥大(1人)、甲状腺癌(1人)、婦人科の病気(大量出血)(1人)、慢性的貧血(1人) 治療用の服薬の副作用で恒常的な病となる(1人)、溶連菌によるリウマチ痛の入院(1人)、盲腸の腫れ(1名)

(3) 子ども101名の内、以下の症状が確認されていました。

甲状腺A2判定(22人)、恒常的な鼻血(23人)、とびひ(3人)、皮膚疾患(20人)、口内炎(10人)、恒常的な発熱(7人)、結膜炎(2人)、空咳・喘息(10人)、恒常的な頭痛(8人)、気管支炎(3人)、恒常的な隈(3人)、ぐったりと疲れる(5人)、尿からセシウム検出、(3人)、白血球内好中球数の低下(3人)、恒常的な鼻炎(4人)、恒常的な下痢(2人)、慢性的な痰(2人)、いつも目やにが出る(2人)、免疫不全で出生(2名)、心臓に穴が開いて生まれる(2人)、4歳になっても続く夜泣き(2名)、白血球の数値異常(2人)、体力の低下(1人)、甲状腺B判定(1人)、手足口病(1人)、肺炎(1人)、恒常的な足の痛み(1人)、身長が伸びず体重が減る(1人)、夜尿症(1人)、慢性的な目の痒み(1人)、低体重(1人)、雪焼けのような日焼け(1人)、帯状疱疹(1人)、脱毛(1人)、後骨髄球検出(1人)、紫斑病(1人)、痙攣(2人)、虫垂炎(1人)、ヘルペス(1人)、口唇口蓋裂(1人)、慢性的な足の裏の痒み(1人)、リンパ節肥大(1人)、外遊びをすると水いぼができる(1人)、

※以上の資料を作成する際、お一人お一人の心痛を記録したメモ全てを見直しました。作業を続けるうちに、その現実、圧倒されました。何もできない、お見舞いと連帯の言葉をかけるばかりの自分を思いました。ただ、お話しくださった皆様が私と「ともだち」になってくださったこと。それだけが、救いだと思いました。以下に、面談の様子をご紹介します。なお、以下の事例にお

いて地域名と個人名は伏せております。どうして、伏せなければならぬのか。その点に、深い闇のような問題を感じます。

#### Aさん

(女性・2015年南関東の某日本基督教団教会で面談)

・現在、千葉県の都市で、自分と、今小学生3年生の二人暮らし。交通事故の後遺症を負っている。千葉県内湾岸地区で被災。その時、保育園に子どもはいた。テレビで、爆発を見て、チェーンメールが回ってきた。怪しかった。嘘だという友達もいた。妹から、子どものことを心配して、逃げるように勧められた。子どもが4月から学校に行くようになって、放射能博士のような人がいて、勉強が進んだ。クラスでは2家族だけ、危険を理解していた。

・子どもが空咳が止まらなくなり、病院も役に立たず、病気はわからなかった。身長は伸びず、体重は減り、咳をして吐くようになった。木下浩太氏の講演に参加し、そこで短期保養を勧められた。保養に行ったら、咳が止まった。皮膚に痒みも出ていたのだけれど、それも止まった。

・かゆみは、自分にも出ていた。それも、保養に出ると止まった。千葉に戻ると、再び繰り返す。最近、抜け毛が、ひどくなっている。震災後の秋には始まったものである。

・心なしか、保養に出て治まるおさまりが、鈍くなっているように感じる。今夏、稲毛の海に行ったら、目が痛くなった。岡山の海では、痛くなかった。自分の心電図は、異常を示している。この数日、心臓が痛くて、寝付けない。

・母子ともに、移住を希望している。しかし、震災後、家計を支えてくれた実の両親が病気になり、「移住」に強く反対している(恩知らず、と罵られる)。父親は、癌となり、母親は、めまいがひどく、バスにも乗れない状態となる。病院では原因不明とされる。自家菜園の野菜を食べ続けていたことが気になる。

郡山キリスト福音教会での面談。ほとんどの面談は教会で行われます。

